

年明けから自然災害が多発

令和4年1月15日午後1時10分ごろ、南太平洋トンガ沖の海底火山で大規模な噴火が発生し、気象庁は16日に太平洋側全域に津波警報や津波注意報を発表しました。この津波により、太平洋沿岸で貝類・藻類養殖物や養殖施設の損壊のほか、漁船の転覆などの漁業被害が発生しました。

また、1月22日には日向灘で地震が発生し、大分県、宮崎県で最大震度5を観測するなど、年明けから自然災害が相次いで発生しております。漁業共済団体では自然災害が発生した場合には迅速に漁業被害状況を把握し、早期支払に努めています。

さらに、感染力の強いオミクロン株による新型コロナウイルスの第6波により、新規感染者数が爆発的に増加する中、感染拡大防止のため、まん延防止等重点措置が現時点において36都道府県で実施されています。

新型コロナウイルスの影響で、水産業においても水産物需要の減少や魚価の下落などが懸念されるなど、依然として先行きが不透明な状況下ではありますが、漁業共済団体としては、感染予防に最大限の注意を払いつつ、ぎよさいと積立ふらすの定着に努めて参ります。

令和3年度の加入実績（1月末累計）

（単位：百万円）

区 分	共済金額			漁業者積立額		
	本年度	前年度	前年比	本年度	前年度	前年比
漁 獲 共 済	256,387	262,746	98%	17,536	16,338	107%
養 殖 共 済	218,904	235,104	93%	9,347	10,072	93%
特 定 養 殖 共 済	115,090	118,086	97%	4,066	4,209	97%
漁 業 施 設 共 済	19,044	18,823	101%			
地 域 共 済	11,698	12,611	93%			
合 計	621,122	647,371	96%	30,949	30,619	101%